

# 平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月12日

上場会社名 相模ゴム工業株式会社  
 コード番号 5194 URL <http://www.sagami-gomu.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大跡 一郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営計画室 室長 (氏名) 吉田 邦夫  
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

上場取引所 東

TEL 046-221-2311

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	3,749	—	231	—	58	—	△27	—
20年3月期第3四半期	3,548	7.0	235	—	217	—	87	—

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	△2.54	—	—	—
20年3月期第3四半期	8.01	—	—	—

### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
21年3月期第3四半期	7,821	2,784	33.4	239.88				
20年3月期	7,746	3,232	39.2	278.89				

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 2,611百万円 20年3月期 3,037百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	10.00	10.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,670	0.9	200	74.7	170	73.2	60	—	5.51

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 10,937,449株 20年3月期 10,937,449株

② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 51,803株 20年3月期 46,701株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 10,888,438株 20年3月期第3四半期 10,894,963株

### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1 上記の予想は、当社が現在入手している情報に基づき作成しているものであり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## ・ 定性的情報・財務諸表等

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国のサブプライムローン問題による金融市場の混乱が、欧米のみならず世界的な規模で、信用収縮・市場の混乱へと連鎖し、世界経済が一段と減速する中、急激な円高や株価の下落等の影響を受け、企業収益の悪化や設備投資の減少と個人消費の低迷により、景気後退が急速に強まる状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当グループは経営のより一層の効率化を図り、生産性向上、経費削減等に取り組んでまいりました。

経営成績については、医療機器事業はポリウレタン製コンドームが順調に推移しており、2月中旬に新製品を投入し、より一層の販売促進を目指します。しかし、国内ラテックス製コンドームは、成熟した国内市場において棚シェア獲得競争が激化し、またそれに伴う慢性的な価格の低迷により、厳しい環境が続いております。また、海外売上高におきましては、米国向けが好調に推移しておりますが、一方、為替の動向による悪影響が出始めております。プラスチック製品事業におきましては、原材料価格の乱高下を受け、生産の効率化、付加価値製品の販売強化に努めてまいりました。

この結果、当グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高37億4千9百万円、営業利益2億3千1百万円と順調に推移いたしましたが、急激な円高による為替差損1億6千9百万円を計上し、経常利益5千8百万円、また法人税等を9千3百万円計上した結果、第3四半期純損失は2千7百万円となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ7千4百万円増加し、78億2千1百万円となりました。これは主に、現金及び預金が3億7千8百万円、受取手形及び売掛金が2億6千2百万円増加し、たな卸資産が1億3百万円、建物及び構築物が5千4百万円、機械装置及び運搬具が2億2千3百万円、投資有価証券が1億7千4百万円減少したことによります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ5億2千2百万円増加し、50億3千6百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が1億9千9百万円、長・短期借入金が4億1千7百万円増加し、未払法人税等が7千1百万円減少したことによります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ4億4千7百万円減少し、27億8千4百万円となりました。これは主に、利益剰余金が1億6千2百万円、その他有価証券評価差額金が1億2百万円、為替換算調整勘定が1億5千9百万円減少したことによります。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績見通しにつきましては、当第3四半期連結累計期間の業績を踏まえ、当グループを取り巻く経営環境は厳しい状況が続くものと予想されますが、平成21年3月期の業績予想につきましては、平成20年11月11日の業績予想修正発表時に公表いたしました予想を変更しておりません。

## 4. その他

## (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

## (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## ・簡便的な会計処理

- ① 一般債権の貸倒見積高の算定方法  
当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。
- ② 棚卸資産の評価方法  
当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。
- ③ 原価差額の配賦方法  
標準原価を適用しているために原価差異が生じた場合、当該原価差異の棚卸資産と売上原価への配賦を年度決算と比較して簡便的に前連結会計年度末の配賦割合をもとに配賦しております。
- ④ 固定資産の減価償却費の算定方法  
定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。
- ⑤ 経過勘定項目の算定方法  
前連結会計年度の実績をもとに合理的な算定方法により計上しております。
- ⑥ 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法  
繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

## ・四半期特有の会計処理

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

## (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。
- ② 「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。  
これによる損益に与える影響は軽微であります。
- ③ 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(企業会計基準委員会 平成18年5月17日 実務対応報告第18号)を第1四半期連結会計期間から適用し、連結決算上必要な修正を行っております。これにより、利益剰余金が25,579千円減少しております。また、これによる損益及びセグメント情報に与える影響は軽微であります。

1 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	973,150	594,723
受取手形及び売掛金	1,794,114	1,531,639
製品	209,811	269,274
原材料	392,200	372,955
仕掛品	640,491	669,708
貯蔵品	82,640	116,447
繰延税金資産	72,921	72,816
その他	95,537	82,543
貸倒引当金	△60,252	△65,076
流動資産合計	4,200,616	3,645,033
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,834,274	1,878,208
減価償却累計額	△1,154,758	△1,143,977
建物及び構築物(純額)	679,515	734,231
機械装置及び運搬具	4,538,956	4,841,705
減価償却累計額	△3,188,612	△3,267,688
機械装置及び運搬具(純額)	1,350,344	1,574,016
土地	958,784	968,745
その他	247,945	248,308
減価償却累計額	△215,144	△216,807
その他(純額)	32,801	31,500
有形固定資産合計	3,021,445	3,308,495
無形固定資産		
のれん	80,819	99,408
その他	4,987	4,012
無形固定資産合計	85,807	103,420
投資その他の資産		
投資有価証券	462,886	637,091
その他	62,674	65,840
貸倒引当金	△12,182	△13,577
投資その他の資産合計	513,377	689,354
固定資産合計	3,620,630	4,101,270
資産合計	7,821,246	7,746,304

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	741,951	542,046
短期借入金	2,891,261	2,666,748
未払法人税等	21,862	93,038
賞与引当金	33,825	62,723
その他	208,846	152,481
流動負債合計	3,897,748	3,517,037
固定負債		
長期借入金	853,400	660,000
繰延税金負債	15,180	84,832
退職給付引当金	106,789	52,594
役員退職慰労引当金	161,832	199,577
その他	1,500	—
固定負債合計	1,138,702	997,004
負債合計	5,036,450	4,514,042
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	547,436	547,436
資本剰余金	681,385	681,385
利益剰余金	1,835,701	1,997,871
自己株式	△16,394	△15,050
株主資本合計	3,048,129	3,211,642
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	125,157	227,697
為替換算調整勘定	△561,989	△402,004
評価・換算差額等合計	△436,831	△174,306
少数株主持分	173,497	194,925
純資産合計	2,784,796	3,232,261
負債純資産合計	7,821,246	7,746,304

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	3,749,861
売上原価	2,587,230
売上総利益	1,162,631
販売費及び一般管理費	930,721
営業利益	231,909
営業外収益	
受取利息	249
受取配当金	11,447
その他	29,284
営業外収益合計	40,981
営業外費用	
支払利息	44,666
為替差損	169,155
その他	77
営業外費用合計	213,899
経常利益	58,991
特別利益	
固定資産売却益	7
貸倒引当金戻入額	4,276
その他	1,041
特別利益合計	5,326
特別損失	
固定資産除売却損	2,459
特別損失合計	2,459
税金等調整前四半期純利益	61,858
法人税等	93,858
少数株主損失(△)	△4,317
四半期純損失(△)	△27,682

## 【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)
売上高	1,280,078
売上原価	845,370
売上総利益	434,707
販売費及び一般管理費	314,858
営業利益	119,849
営業外収益	
受取利息	14
受取配当金	4,869
その他	8,468
営業外収益合計	13,352
営業外費用	
支払利息	14,942
為替差損	146,559
営業外費用合計	161,502
経常損失(△)	△28,299
特別利益	
貸倒引当金戻入額	1,358
その他	1,041
特別利益合計	2,400
特別損失	
固定資産除売却損	212
特別損失合計	212
税金等調整前四半期純損失(△)	△26,112
法人税等	34,415
少数株主損失(△)	△2,245
四半期純損失(△)	△58,281

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考」

前第3四半期に係る財務諸表

(要約) 四半期連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
	金額
I 売上高	3,548,437
II 売上原価	2,431,766
売上総利益	1,116,670
III 販売費及び一般管理費	881,328
営業利益	235,342
IV 営業外収益	36,623
V 営業外費用	54,866
経常利益	217,099
VI 特別利益	5,754
VII 特別損失	3,446
税金等調整前四半期(当期)純利益	219,407
税金費用	135,334
少数株主利益	△3,238
四半期(当期)純利益	87,311